

- 地元農家の女性達を中心となり、販売額は約7億円、町の農産生産額の15%を占め、新たに58名の雇用を創出。
- 運営も生産者自らが手作りで、商品開発、品質管理、イベント企画運営までを実施。特に、商品開発は、女性で構成される複数のチームで独自商品を開発するなど、女性主役の運営も特長。出荷農家は、当初から約2倍に(176人→394人)
- 販売管理システムやトレーサビリティを導入し、16年間で利用者は6倍、販売額は8倍に増加。

年間利用者：約80万人 販売額：約7億円 雇用：58名

道の駅「内子フレッシュパークからり」

愛媛県内子町

〔人口 約1万8千人
面積 約300km²〕

国道379号(単独型)



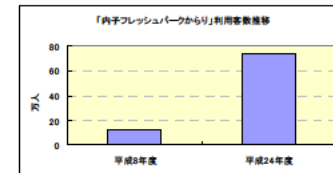
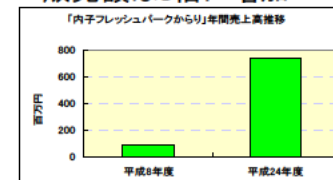
季節の農作物にあわせて加工商品を開発販売。
内子町内の農産物販売額の約15%を売り上げる拠点に発展

地場産品を「からりブランド」商品として販売

16年間で利用者は6倍、販売額は8倍に増加



道の駅の企画・運営を支える生産者チーム

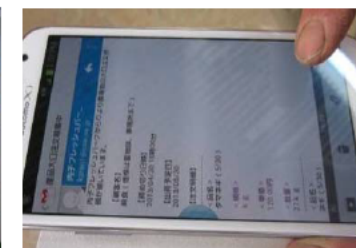


ITを導入して鮮度を追求することで、安全安心な農産物提供システムを構築

- 出荷する地場農産物にトレーサビリティやPOSシステムを導入。販売情報が連絡され、在庫に合わせて出荷者が直接納品することで鮮度向上を追求



栽培履歴検索
(生産者・栽培情報をもとに農薬・肥料まで)



出荷者へ販売状況や必要農作物を随時伝言